

海外ニュース

△米 国▽

米国W S Fの年一回の一大行事は、秋に行われるディナーパーティーです。昨年十月七日に、十二回目のパーティーがニューヨークのマリオット・マリク・ホテルで開かれました。その時のプログラムを、ちょっとご紹介しましょう。

午後六時半からカクテル・レセプション。出席者は、カクテルを軽く飲みながら、お互いあいさつをしたり紹介しあったりします。七時半からディナー。ここで、スポーツ界で活躍している選手や指導者たち64人による「大行進」があります。日本人にも馴染みのある顔も何人か。たとえばテニスのトレシー・オースチン、陸上のジャック・ジョイナー・カーシー、グレテ・ワイツ。ルーマニアから米国に亡命した体操のナディア・コマネチもいます。

この後が「メイン・イベント」の表彰式。W S Fでは毎年、スポーツの各分野で功績のあった女性たちを、このパーティーで表彰しています。昨年は次のようなものでした。

「国際女性スポーツ・ホール・オブ・フェーム(殿堂)」としては、パイオニ

アの部、現役の部、指導者の部の3つがあり、体操のベラ・チャスラフスカ(チェコ)が、現役の部(現在はチェコ・オリンピック委員会会長)で選ばれ、殿堂入りしました。このほか「年間最優秀選手」として、アマチュアから車椅子レーサーのジーン・ドリスコル、プロからゴルフの全米女子オープンで優勝したメグ・マロンが表彰されました。

さらに「ビリー・ジーン・キング貢献賞」「女性スポーツ・ジャーナリズム賞」などもそれぞれ発表されました。このパーティーには、テニスのアーサー・アッシュやフィギュア・スケートのブライアン・ボイタノといった男性も、プレゼンターとして出席しています。

雰囲気は、さながら映画のアカデミー賞の授賞式といったところ。一般の人たちも、何十ドルというテーブルチャージを払って、華やかに着飾ってこのパーティーを楽しみます。

十時半からのシャンペン・コーヒーパーティーは深夜まで続きます。この日の収益が、W S Fの貴重な活動資金となっています。

日本で、こんなパーティーが実現するのはいつ?

SOS
Model Agency